



バックナンバーはこちらから

幸手を元気に！

住みたくなるまちづくりへ

Vol.13 令和6年3月発行



坂本達夫

幸手市議会議員

令和6年3月 幸手市議会一般質問から



地震に弱い市役所本庁舎は、使用禁止と！

Q.

坂本質問：

2024年元旦、能登半島地震が発生した。石川県輪島市では、震度7を記録し、市民が建物に押し潰され、多くの尊い命が奪われた。

幸手市において、同じクラスの地震が発生すれば、耐震上問題のある市役所本庁舎は、倒壊の可能性が高い。市民、職員の命に関わる問題が発生するという認識は市長にあるか伺う。今すぐ本庁舎を使用禁止とすべきと考えるが、市長の考えを伺う。

A.

木村市長：

市民や職員の命を守る認識は、市長である私は十分に持ち合わせている。本庁舎を使い続けることも、危機管理上好ましくないことは認識している。しかし、すぐに移転先を見つけることも困難である。基本構想策定の中で、移転先、その必要性の要否について検討する。



木村市長の答弁を聴いて、坂本達夫の意見

市民や職員の命を守る認識があれば、今すぐ本庁舎を使用禁止とし、ウエルスやアスカル等既存施設を活用すべきである。

本庁舎に耐震上問題があると分かったのが、2011年11月である。これまでの12年間、何の対策も取らず、庁舎を使い続けてきた。

地震はいつ発生するか分からない。最悪の事態を想定し、市長は市民、職員の命を守るという決意が必要である。地震に対する木村市長の本気度が、問われている。



幸手市が進めている新庁舎建設計画について

1. 幸手市は次のとおり、 新庁舎建設を計画している。

1	基本構想策定	2023年12月～ 2024年12月
2	基本計画策定	未定
3	基本設計策定	未定
4	実施設計策定	未定
5	建設工事	未定

2. 基本構想策定に向けた基本的な考え方

基本コンセプト： 将来にわたり
人と環境にやさしい庁舎

- 基本的な考え方： ①安心・安全な庁舎
②環境にやさしい庁舎
③人にやさしい庁舎
④幸手らしく親しまれる庁舎
⑤将来の変化に対応できる庁舎

市役所本庁舎の耐震診断結果(2011年11月)

Is値	1階	2階	3階
長辺方向	0.72	0.43	0.55
短辺方向	0.90	0.39	0.49
判定	適	不適	不適

一般的には震度6強～7の大地震に安全とされるIs値(建物の耐震性能を示す指標)は「0.6」以上とされている。本庁舎は昭和42年の建設から56年が経過し、2階、3階部分において「0.6」を下回っている。

■ は0.6を下回っている



坂本達夫の意見

バックナンバーはこちらから



今、幸手市は新庁舎建設に向け事業を進めている。私は、次の理由により新庁舎建設計画に反対する。

- ①新庁舎建設は、大きな事業である。大きな事業は、その必要性を分かりやすく、市民に説明する必要がある。昨年行われた市長選挙においても、木村市長の選挙公約の中に新庁舎建設は入っていないので、なおさらのことである。
- ②現在の本庁舎をどうするかという課題をそのままにして、新庁舎を検討することは問題である。現在の本庁舎をどうするか、市長は方針を示すべきである。
- ③財政的に苦しい幸手市において、財政上の解決策を示さず新庁舎を建設することは問題である。借金を次の世代に回すことになる。



さかもと たつお 坂本達夫

〒340-0163
埼玉県幸手市中川崎1-3
電話: 090-1242-0867
メール: sattegenki@gmail.com
ホームページ: sattegenki.com

役職等

- ・市議会文教厚生常任委員長
- ・幸手市スポーツ協会会長倉支部役員
- ・長倉小学校応援団員
- ・埼玉県地球温暖化防止活動推進員
- ・中川崎保全組合員
- ・幸手市民環境ネット役員
- ・中川崎共楽会役員

プロフィール

昭和28年 幸手生まれ
幸手小、幸手中、幸手商業高卒業
昭和47年 埼玉県庁入庁
昭和50年 埼玉大学経済短大卒業(夜間)
平成26年 埼玉県庁退職
平成27年 幸手市議選得票数 748票
平成31年 幸手市議選得票数 1402票(初当選)
令和 5年 幸手市議選得票数 1268票(2期目)